

令和4年度 とよかわ市民協働推進計画実施施策評価結果

【評価結果一覧】

| 方針名 | 施策名 | 委員会評価 |
|-----------------|------------------|-------|
| 市民活動に関する情報収集・提供 | 紙媒体による情報提供の充実 | 4 |
| | インターネットなどの効果的な活用 | 4 |
| 人材育成と協働意識の醸成 | 担い手の育成と活用 | 4 |
| | 協働意識の醸成 | 4 |
| 市民活動団体の支援 | 活動拠点の充実 | 4 |
| | 財政的支援などの充実 | 4 |
| | 人的支援の充実 | 4 |
| 市民協働推進の仕組みづくり | 推進・連携体制の整備 | 4 |
| | 協働事業の評価・公表 | 4 |

※委員会評価の点数は、裏面にある5点満点評価の数値を使い配点をしています。

【委員会意見】

総合評価については、9施策すべてが4点であり、具体策の目的達成度や効果は計画どおりであると評価します。

基本方針1「市民活動に関する情報収集・提供」の実実施策1「紙媒体による情報提供の充実」においては、小学生に冊子「地域を支える町内会のひみつ」を配布することで町内会について学ぶ機会を創出しており、紙媒体の有効活用ができています。「とよかわボランティア・市民活動センターだより」が掲載するイベントや講座情報も前年比増となり、市民活動参加のきっかけへの一助となっているといえます。企業の情報誌やフリーペーパーなども有効な手段であるので今後はこちらにも注力しながら、特定多数に確実に配布されるような媒体への情報提供の検討も必要です。引き続き、紙媒体による情報提供の充実を図っていくことを期待します。

実施施策2「インターネットなどの効果的な活用」においては、昨年度に引き続き市民活動広報リポーターの登録者と市民ボランティア情報提供システムの登録者がともに増加しており、市民活動やボランティアの情報が広く発信できていることを評価します。一方でFacebookやTwitterのフォロワー数は伸び悩んでいますが、情報の発信件数は大幅に増加しており、情報の充実は図られています。インターネットで講座申し込みができる「あいち電子申請届出システム」の活用が着実に進展しており、時間や場所にとらわれない利用が提供できていることを評価します。

基本方針2「人材育成と協働意識の醸成」の実実施策1「担い手の育成と活用」においては、コロナ禍が続いていますが昨年度よりも概ね実施状況が好転しており、参加者数も堅調に増加しています。また動画配信など新たな試みを講じたことも評価します。特に若年層のボランティア体験講座は参加者が年々伸びており、彼らの今後の活躍が楽しみです。その点も踏まえて、様々な養成講座等を受講した方がその知識を生かして活動できるような、フォローアップ体制の構築にも、引き続き期待します。

実施施策2「協働意識の醸成」においては、団体交流会の回数及び参加者数が昨年度よりも増加し、コロナ禍であるが市民活動への参加促進や情報共有が図られています。協働推進員の活動促進も有効的な取り組みです。企業向けの協働に関する出前講座の開催状況

も大きく好転しており、市内事業所、従業員のボランティア参加促進が図られています。今後は、講座を受講した協働推進員や企業が実際に活動に繋がられるように、フォローアップも検討する必要があります。

基本方針3「市民活動団体の支援」の実施策1「活動拠点の充実」においては、活動拠点となる施設の長寿命化などハード面での環境の向上がみられるほか、公共施設等使用料の減免、施設を利用する上での新型コロナウイルス対策などにより、市民活動団体が安心して円滑に利用できる環境が整えられていることを評価します。また、新たな活動拠点の調査が実施されたことで、さらなる拡充が期待できます。

実施策2「財政的支援などの充実」においては、町内会応援事業所の登録事業所数が増加し、町内会に対する財政的支援が充実したことを評価します。各種補助金や経費補助は市民活動団体や町内会が安定して事業を継続されるために有意義ですが、一方で財政的補助に依存しないような支援も検討することも必要です。またコロナ禍が長引き停滞する市民活動が見受けられるので、新しい事業の形を提案しながら補助金の活用についての提案も期待します。

実施策3「人的支援の充実」においては、町内会アドバイザー派遣事業は課題解決の議論から実践まで繋ぐことができたことを評価します。また、昨年度よりもスキルアップ講座の開催を担当する課が増え、様々な試みがあり有意義なものになっています。継続的でタイムリーな講座を開講するため、ニーズをとらえて新しい研修機会を提供する必要があります。

基本方針4「市民協働推進の仕組みづくり」の実施策1「推進・連携体制の整備」においては、市民活動団体、町内会、企業のマッチングが図られており、定着してきていることを評価します。今後は、若い世代の取り込みや、各課の施策に繋がるよう、市民協働推進員研修等により、職員の意識・啓発を強化したり、他課同士の柔軟な連携体制の構築を模索する必要があります。

実施策2「協働事業の評価・公表」においては、市で取り組む協働事業を市ホームページを活用し、広く公表できています。今後は、更なる周知を図るために、新たな公表の仕方の工夫が必要です。

引き続き、とよかわ市民協働推進計画を計画的に遂行し、「地域と行政がしっかりと支えているまち」に進んでいくことを期待します。

参考

【評価基準】

| 評価点 | 評価基準 |
|-----|--------------------------------------|
| 5 | 具体策の目的達成度や効果は非常に良好であり、継続して行うべきである |
| 4 | 具体策の目的達成度や効果は良好であり、継続して行うべきである |
| 3 | 具体策の目的達成度や効果は計画どおりであり、継続して行うべきである |
| 2 | 具体策の目的達成度や効果が少し不十分であり、内容の一部見直しを要する |
| 1 | 具体策の目的達成度や効果が不十分であり、根本的見直し、または中止を要する |

【評価の方法】

評価は、実施策ごとに事業実績報告書と目標指標実績報告書を確認し、目的達成度や効果などを客観的に評価して、次の基準により実施する。